

「ライセンスアソシエイト」という仕事を知っていますか？

塩崎紀子 (株式会社テクノネットワーク四国(四国TLO) シニアアソシエイト)

仕事の内容とやりがい

「ライセンスアソシエイト」とは、大学で生み出された技術を産業界に移転する「橋渡し役」のような存在です。具体的には、大学から特許出願された発明を企業にライセンスし、事業化で得られた利益の一部を大学に還元します。有用技術の発掘力、それを伝える発信力、コミュニケーション力、交渉力等が問われる難しい仕事ですが、マッチングに成功した時の喜びはひとしおです。研究室から市場までの長く険しい道のりの、第一歩に携わることにやりがいを感じています。

進路決定のきっかけ

高校生物の授業が実験ばかりで楽しかった事と、植物が好き、という理由から農学系学部へ進学、研究職に就きたいと思い大学院へ。学位を取得しポスドクとして研究生生活を続ける中で、このまま不安定なポスドク生活を続けていてよいのかという焦り、何か新しい事をやってみたいという浮気心、これまでの経験を無駄にしたくないという未練等々を感じていました。そんな時、TLO(技術移転機関)の求人で見つけライセンスアソシエイトという仕事を知り、「なんだか面白そう」と思って応募しました。

仕事と生活のバランス

私は香川県、夫は徳島県で仕事をしているので、平日は4歳の息子、18歳の猫と暮らしています。近くに頼れる実家ありませんでしたが、夫との連携、母の協力、職場の理解(小さな会社は融通がきく!)と、保育園(地方は希望の保育園に入れやすい!)のお陰で、なんとかやっています。正直しんどい時もありますが、若かりし頃の「仕事、どうする?」「結婚、どうする?」「子供、どうする?」という問いから解放されて、さっぱりしました。仕事も家庭も自分を成長させてくれます。みんなありがとう。

進路選択に対してのメッセージ

「理系」というと「専門職」といったイメージが強いかもしれませんが、世の中には貴方の知らない会社や仕事がたくさんあります。私が理系を選んだ時、「ライセンスアソシエイト」という仕事は日本には存在していませんでした。選択肢を絞るのではなく、広げるつもりで理系を選んでみてはいかがでしょうか?いつ、何を勉強したっていいけれど、選択肢は多い方がいい。サイエンスは広く、深く、面白いものです。いろいろな係わり方があると思いますよ。

＜塩崎紀子(しおさきのりこ) プロフィール＞

愛知県立瑞穂高校→広島県立大学生物資源学部→名古屋大学大学院人間情報研究科、博士号取得→お茶の水女子大学(研究員:ポスドク)→大手メーカー(研究員:ポスドク)→結婚して四国へ→四国TLO(NEDOフェロー:独立行政法人からの派遣)→出産→四国TLO(プロパーとして直接雇用)→現在に至る

